

文献目録

征西将軍宮関係文献目録

川添 昭二・朱雀 信城 共編

【凡例】

- 一 九州の南北朝期政治史は幕府（北朝）と征西府（南朝）の相克の形をとっている。幕府側の勢力である前号・前々号に掲げた九州探題の研究史とともに、今回、征西府の研究史を掲げること、南北朝期九州政治史の全体像を把握することが可能である。
- 一 征西府は、延元3（暦応元、1338）年に後醍醐天皇皇子懐良親王が征西将軍に任命されたことにはじまり、興国3（康永元、1342）年5月に薩州津に上陸して以来、谷山・御船・菊池と拠点を遷し、正平16（康安元、1361）年、大宰府入りして全盛期を迎える。その後、文中元（応安5、1372）年、九州探題今川了俊に大宰府を追われ、また拠点を各地に遷し、その職も後征西将軍宮へ譲ることになる。本目録は特に征西府の在大宰府時代に限定せず、広く征西府に関わる文献を採録している。
- 一 ただし、菊池氏に関しては研究が豊富であり、次号に別稿を予定している。そのため、征西府にかかわりのある文献であっても、掲載を次号に譲ったものがある。
- 一 本目録は川添の作成にかかる文献目録カードを朱雀が整理・補訂したものである。

作者	表 題	出 典（発行所）	年月
阿蘇惟教	懐良親王御事蹟四大考	旧有馬家文書	
	征西将軍宮御事歴書	旧有馬家文書	
	南朝事跡抄	写本：内閣・宮書・東大	
牧園茅山	行在或問		1828.03
船曳鉄門	靈沼餘滴—征西将軍宮御事蹟考—		1876.09
久米清淵	征西大將軍懐良親王御墓所再々考		1877.12
津々良一如	征西大將軍八代宮御傳大略		1882.01
樋口貞幸	後征西大將軍宮		1886.06
酒巻鷗公（貞一郎）	『征西将軍懐良親王』	（警醒社書店）	1903.10
渡辺村男	征西将軍懐良親王御墳墓考	古蹟 3-1	1904.01
池内宏	明初に於ける日本と支那との交渉（一）～（四）	歴史地理 6-5、6、7、8	1904.05、06、07、08
佐竹義文	征西将軍宮懐良親王	史学界 7-1、2	1905.01、02
菅政友	征西大將軍宮懐良親王ノ筑紫ニ下リマシ、年月考	同『菅政友全集』（国書刊行会）	1907.11
菅政友	勘解由次官正五位上清原頼元真人伝 附孫左馬権頭頼治真人	同『菅政友全集』（国書刊行会）	1907.11
菅政友	南山皇胤譜	同『菅政友全集』（国書刊行会）	1907.11

征西將軍官関係文獻目録（川添・朱雀）

和田英松	懐良親王御筆の経巻に就て	史学雑誌 19-11、のち同『国史国文之研究』（雄山閣、1926.02）に再録	1908.11
田中元勝・宇野東風	『征西大將軍官譜 同附録』	『肥後文献叢書』6（隆文館）	1910.08
宇野東風	大日本史懐良親王伝を読みて（第1回）（第2回）	史学雑誌 23-4、5	1912.04、05
牧野純一	懐良親王に就きて	史学雑誌 25-5	1914.05
牧野純一	懐良親王薨去地の研究	歴史地理 25-3	1915.03
藤田明	『征西將軍官』	（東京宝文館）のち1915.12、非売品として、1976.03、文献出版より復刻	1915.06
武谷水城	懐良親王の反面と太宰府—明史に露はれたる親王の半面—	筑紫史談 6、のち1969.10、福岡県文化財資料集刊行会より復刻	1915.08
田中耕祐	『大原戦史』	（小郡村自強会・小郡尋常小学校・帝国在郷軍人会小郡村分会）、のち1941.06、田中穂積により出版、1972.11、小郡市郷土史研究会より復刻	1915.09
飯島茂	懐良親王の御事蹟に関する二三の考	筑紫史談 7、のち1970.01、福岡県文化財資料集刊行会より復刻	1915.11
武谷水城	懐良親王の半面に就て中島氏の来書	筑紫史談 7、のち1970.01、福岡県文化財資料集刊行会より復刻	1915.11
武谷水城	懐良親王御事蹟の記事に就き伊東氏の来翰	筑紫史談 8、のち1970.01、福岡県文化財資料集刊行会より復刻	1916.02
三浦周行	<書評>『征西將軍官』を読む	史林 1-2	1916.04
飯島茂	再び懐良親王の御事蹟に就て	筑紫史談 9、のち1970.06、福岡県文化財資料集刊行会より復刻	1916.05
	宮陣神社縁起		1917.03
辻善之助	懐良親王の対外硬と足利義満の国辱外交	同『海外交通史話』（東亜堂書房）、のち1930.05、内外書籍より増訂版	1917.06
飯島茂	三たび懐良親王の御事蹟に就て	筑紫史談 16、のち1971.02、福岡県文化財資料集刊行会より復刻	1918.03
飯島茂	南北朝時代皇運恢復の任務を帯びて九州へ下向せられた大覚寺統派の皇族に就て	筑紫史談 18、のち1971.04、福岡県文化財資料集刊行会より復刻	1918.10
	後醍醐天皇及靈照院禪定尼靈牌	史学雑誌 30-4	1919.04
宇野東風	天授七年の古宝篋印塔に就きて—征西將軍官懐良親王の御変名を発見す—	史学雑誌 30-4	1919.04
石原繁雄	『懐良親王と三井郡 全』	（福岡県三井郡）、のち2009.05、大原合戦650周年実行委員会より復刻	1923.05
今村和方	懐良親王御在所並に御薨去地考		1924.12
景浦直孝	征西將軍官懐良親王の伊予下向と忽那義範（伊予海賊の活動其一）	同『伊予史精義』（伊予史籍刊行会出版部）	1924.12
池田米男	征西將軍官懐良親王記念碑	『鹿児島県史蹟名勝天然記念物調査報告』1（鹿児島県）	1926.03
泉田荒吉	征西大將軍懐良親王	神社協会雑誌 25-12	1926.12
久多羅木儀一郎	征西將軍官に関する日田郡高瀬の伝説遺蹟	『大分県史蹟名勝天然記念物調査報告書』8（大分県）	1930.01
三宅万蔵編	『征西將軍官』	（八女郡教育会）	1930.03
平井武夫	吉野朝天授前後の筑後黒木城と同城社発見の天授塔	福岡 44	1930.09
岡茂政	茅山先生展墓記	柳河新報、のち『柳川史話』1（柳川郷土史刊行会、1956.11）、柳川郷土研究会編『柳川史話』[全]（青潮社、1984.09）に再録	1930.10
飛松正	懐良親王の御事蹟二三	歴史教育 5-11	1931.01
福岡県社会教育課	筑後に於ける両征西大將軍官	成人教育資料	1931.03
武藤直治	懐良親王に関する星野村伝説地	『福岡県史蹟名勝天然記念物調査報告書（史蹟の部）』6（福岡県）、のち1970.12、福岡県文化財資料集刊行会より復刻	1931.03

廣木天村	征西將軍懷良親王は豊前御上陸なるの説	福岡 54	1931.12
小野精一	征西將軍懷良親王柳浦村上陸説	史談 11-2	1932.03
	五條家の文書	『福岡県史資料』1 (福岡県)	1932.06
中村徳五郎	『南朝忠臣大野乗資と其先祖及後孫』	(政教社出版部)	1932.12
熊本県教育会 八代郡支会編	『征西將軍宮』	(熊本県教育会八代郡支会)	1933
宮陣神社	『筑後に於ける両征西將軍宮』	(宮陣神社社務所)	1933.11
秋山謙蔵	『国史研究会編輯 岩波講座日本歴史43 日明関係』	(岩波書店)	1933.11
橋本徳太郎	征西將軍と星野一族 附星野地方の勤王 事業に就て (一) (二)	福岡県史蹟名勝天然紀念物 8-11、12	1933.11、12
今村和方	征西將軍宮御遺蹟、星野氏の勤王と星野 村		1934.02
大西源一	征西大將軍宮と九州の勤王家	同『南朝の砥柱』(愛洲顕彰会)	1935.05
岡茂政	五条氏の柳河領矢部移住につきて	柳河新報、のち『柳川史話』3 (柳川郷土史刊行会、 1960.08)、柳川郷土研究会編『柳川史話』[全] (青 潮社、1984.09) に再録	1935.07
有吉憲彰	吉野時代に於ける太宰府の占領・陥落と 大野乗資の忠蹟	福岡県人 13-8	1935.08
宇野東風	大日本史懷良親王伝を読む	筑後新聞	1935.08、09
武谷水城	楠木神社と九州 附楠木氏と恩怨一如塔	筑紫史談 65、のち1977.09、福岡県文化財資料集刊 行会より復刻	1935.09
荒木精之	吉野朝九州史上に重要な役割を占むる五 条頼元について	陣迹 1-1、のち同『荒木精之著作集』 菊池氏一族 (熊本出版文化会館、1991.09) に再録	1936.01
村上迫川	『菊池征西府史 懷良親王と菊池郡』	(村上特許事務所)	1936.05
岡茂政	後征西將軍宮についての異説	柳河新報、のち『柳川史話』3 (柳川郷土史刊行会、 1960.08)、柳川郷土研究会編『柳川史話』[全] (青 潮社、1984.09) に再録	1936.06
中村徳五郎	『大野乗資に関する質議事項の説明』		1936.06
中村徳五郎	『大野乗資に関する質議事項の説明 追 記』		1936.07
長沼賢海	懷良親王の征西路考	史淵 13	1936.07
福岡県教育会	『征西將軍宮と五條氏』	(福岡県教育会)	1936.07
長山源雄	懷良親王の津島郷御駐駕に就いて (上) (下)	伊予史談 87、88、のち1975.07、名著出版より復刻	1936.07、10
武谷水城	五条頼元陸位の建議	筑紫史談 69、のち1978.02、福岡県文化財資料集刊 行会より復刻	1936.12
黒岩玄堂	五条神社創建の議	福岡県教育	1937.01
岡茂政	茅山先生と矢部	柳河新報、のち『柳川史話』1 (柳川郷土史刊行会、 1956.11)、柳川郷土研究会編『柳川史話』[全] (青 潮社、1984.09) に再録	1937.04
岡茂政	「行在或問」の上梓と寄贈	柳河新報、のち『柳川史話』1 (柳川郷土史刊行会、 1956.11)、柳川郷土研究会編『柳川史話』[全] (青 潮社、1984.09) に再録	1937.04
岡茂政	「万寿寺過去帳」に就て—征西大將軍宮御 薨去日時発見の唯一文書—	柳河新報、のち、歴史地理 76-1 (1940.07)、『柳川 史話』1 (柳川郷土史刊行会、1956.11)、柳川郷土 研究会編『柳川史話』[全] (青潮社、1984.09) に 再録	1937.09
橋本徳太郎	南北朝時代特色ある古文書—附征西將軍 を御三方ありしとする私説—	歴史公論 6-12	1937.10
三木正太郎	九州に於ける名和氏一族の活動—特に内 河義真について—	建武 2-6、のち同『日本思想史の諸問題』(皇學館 大学出版部、1989.12) に再録	1937.11
菅沼貞風	征西將軍の宮の偉略	平戸之光 30	1938.06

征西將軍官関係文獻目録（川添・朱雀）

森平太郎	征西將軍官懷良親王の御上陸地は宇佐郡柳ヶ浦である	宇佐史談 17-5	1938.09
懷良親王史蹟 顕彰会編	『征西將軍官懷良親王御伝』	(懷良親王史蹟顕彰会)	1939
	征西大將軍官御入薩以後の情勢	『鹿児島県史』1	1939.04
岡茂政	山鹿の「五条文書」	柳河新報、のち『柳川史話』2(柳川郷土史刊行会、1957.11)、柳川郷土研究会編『柳川史話』[全](青潮社、1984.09)に再録	1940.04
森克己	征西將軍官の対外御方針(講演筆記)	建武5-4、のち同『森克己著作集3 続々日宋貿易の研究』(国書刊行会、1975.11)に再録、2008.12、勉誠出版より新編版	1940.07
岡茂政	管氏の五条頼元伝	柳河新報、のち『柳川史話』2(柳川郷土史刊行会、1957.11)、柳川郷土研究会編『柳川史話』[全](青潮社、1984.09)に再録	1941.02
橋本徳太郎	『後征西將軍官社創建問題』	(日の出書院)	1941.04
平泉澄	征西將軍官と菊池五條両氏	福岡県人 19-5	1941.05
植田彰	長寛勘文について—清原頼業論の一節としての予備的考察—	史学雑誌 52-8	1941.08
岡茂政	「行在或問」の解題	柳河新報、のち『柳川史話』1(柳川郷土史刊行会、1956.11)、柳川郷土研究会編『柳川史話』[全](青潮社、1984.09)に再録	1941.08
橋本徳太郎	『征西將軍官御在所御墓所考証 附勤王皇野氏一族末裔之研究』	(日の出書院)	1942.03
河原萬吉	『吉野の皇子』	(日本出版社)	1943.05
三好不二雄	征西將軍官懷良親王	歴史日本 3-1	1944.01
石原道博	日明交渉の開始と不征国日本の成立—明代の日本観(一)—	茨城大学文学部紀要(人文科学)4	1954.03
	『後征西將軍官良成親王様を偲び奉りて』	(矢部村)	1962
石原道博	いわゆる良懐の対明答書について	歴史研究 31	1964.03
佐久間重男	明初の日中関係をめぐる二、三の問題—洪武帝の対外政策を中心として—	北海道大学人文科学論集 4	1965.02
宮田俊彦	日明・琉明国交の開始(上)(中)(下)	日本歴史 201、202、203	1965.02、03、04
杉本尚雄	『人物叢書32 菊池氏三代』	(吉川弘文館)、のち1988.04、新装版	1966.04
川添昭二	『日本の武将18 菊池武光』	(人物往来社)	1966.06
	五条文書	『熊本県史料 中世篇』4	1967.03
森本正憲	五条頼元について—南北朝内乱期の政治思想—	九州史学 37・38・39合併号、のち「五条頼元と九州の南北朝」と改題して、同『九州中世社会の基礎的研究』(文献出版、1984.05)に再録	1967.04
景浦勉編	『河野家文書』	(伊予史料集成刊行会)	1967.08
山口隼正	南北朝期の肥前国守護について	鹿大史学 15、のち「肥前国守護」と改題して、同『南北朝期九州守護の研究』(文献出版、1989.03)に再録	1967.11
村田正志	南朝関係五条家文書の研究	国士舘大学人文学会紀要 1、のち同『村田正志著作集2 続南北朝史論』(思文閣出版、1983.08)に再録	1969.03
上野無一	『征西將軍官千光寺ご陵墓の研究』	(同刊行会)	1969.06
岡田政男	中世海賊衆の形成と伊予国忽那氏	岡山史学 23	1970.11
秋山英一・片 山才一郎	『南北朝史 新田の旗風』	(常盤史書刊行会)	1973.05
江平望	谷山文書「御感諭旨所望輩注文案」私考—その作成年と諸氏の出自系譜—	知覧文化 11	1974
瀬野精一郎	九州地方における南北朝時代文書の数量的分析	日本歴史 313、のち同『歴史の臨界』(吉川弘文館、1985.05)に再録	1974.06

瀬野精一郎	『九州地方中世編年文書目録 南北朝時代篇』	(吉川弘文館)	1974.10
村田正志・黒川高明校訂	『史料纂集〔古文書編〕五条家文書』	(統群書類従完成会)	1975.08
瀬野精一郎	「征西将軍宮」解説	藤田明『征西将軍宮』(復刻版、文献出版)、のち『征西将軍宮』と藤田明氏』と解題して同『歴史断層』(東京堂出版、1997.03)に再録	1976.03
村井章介	<書評>藤田明著『征西将軍宮』	日本歴史 345	1977.02
今枝愛真・村井章介	日明交渉史の序幕—『明国書并明使仲猷無逸尺牘』を中心に—	東京大学史料編纂所報 11、のち他論文と統合再編成して、村井章介『アジアのなかの中世日本』(校倉書房、1988.11)に再録	1977.03
福岡県教育委員会	福岡県久留米市宮ノ陣町・御井町所在の遺跡群の調査	九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告 15	1977.03
山口隼正	南北朝期の豊前国守護について	東京大学史料編纂所報 13、のち同『中世九州の政治社会構造』(吉川弘文館、1983.05)、『豊前国守護』と改題して、同『南北朝期九州守護の研究』(文献出版、1989.03)に再録	1978.03
川添昭二編	中世筑後研究文献目録	川添昭二編『九州中世史研究』1(文献出版)	1978.11
壇上寛	明王朝成立期の軌跡—洪武朝の疑獄事件と京師問題をめぐって—	東洋史研究 37-3	1978.12
国武久義	船曳鉄門「唐御所考」批判	久留米郷土研究会誌 8	1979.01
山本信吉	八幡大菩薩旗(金鳥御旗)一流	日本歴史 371	1979.04
川添昭二	懐良親王をめぐる九州の南北朝—令旨の分析を中心として—	歴史公論 5-9、のち、同『九州の中世世界』(海鳥社、1994.04)に再録	1979.09
栗林宣夫	日本国王良懐の遣使について	文教大学教育学部紀要 13	1979.12
村井章介	室町幕府の最初の遣明使について—「雲門一曲」の紹介をかねて—	今枝愛真編『禅宗の諸問題』(雄山閣)、のち他論文と統合再編成して、同『アジアのなかの中世日本』(校倉書房、1988.11)に再録	1979.12
瀬野精一郎編	『南北朝遺文 九州編』1~7	(東京堂出版)	1980.01~1992.09
坂井藤雄	『征西将軍 懐良親王の生涯』	(葦書房)	1981.06
川添昭二	歴史探訪「水鳥の陣」	瀬野精一郎編『日本歴史展望 5 分裂と動乱の世紀』(旺文社)	1981.07
川添昭二	後征西将軍宮発給文書考	古文書研究 19	1982.07
川添昭二	『九州中世史の研究』	(吉川弘文館)	1983.03
江上敏勝	征西大將軍懐良親王関係年譜	夜豆志呂 69	1983.05
山口隼正	『中世九州の政治社会構造』	(吉川弘文館)	1983.05
山内譲	瀬戸内の海賊衆の果たした役割	歴史と人物 13-9	1983.08
堺修	征西将軍宮懐良親王を仰ぐ	日本	1983.08
太田弘毅	日本刀の行方—倭寇史の一齣—	芸林 33-2、のち同『倭寇—商業・軍事史的研究—』(春秋社、2002.08)に再録	1984.06
村井章介	征西府権力の性格—良懐の対明入貢をめぐって—	内乱史研究会報 3、のち同『アジアのなかの中世日本』(校倉書房、1988.11)に再録	1984.08
鄭樑生	『明・日関係史の研究』	(雄山閣)	1985.01
江上敏勝	続・征西大將軍懐良親王と八代(1)	夜豆志呂 76	1985.02
川添昭二	大宰府の終末	古都大宰府を守る会編『大宰府の歴史』5(西日本新聞社)、のち同『九州の中世世界』(海鳥社、1994.04)に再録	1986.03
岡哲雄	懐良親王関係御遺跡大観	南風競わず 2	1987.04
柳田快明	懐良親王 西方の黄金郷	歴史読本 32-17	1987.09

征西將軍官関係文献目録（川添・朱雀）

古藤田太	懐良親王の御西下と阿蘇氏	佐伯史談 147	1988.02
津曲篤義	征西將軍懐良親王と川内地区	千台 16	1988.03
遠藤巖	応永初期の蝦夷反乱—中世国家の蝦夷問題によせて—	北海道・東北史研究会編『北からの日本史』（三省堂）	1988.05
日吉憲城	御小袖塚と懐良親王	歴史研究 325	1988.05
森茂暁	征西將軍官懐良親王	同『皇子たちの南北朝—後醍醐天皇の分身—』（中公新書）	1988.07
和田敏子	懐良親王終焉の地を訪ねて	歴史研究 332	1988.12
山口隼正	『南北朝期九州守護の研究』	（文献出版）	1989.03
斎藤満	征西府とその外交についての一考察	史泉 71	1990.03
秦野裕介	明初洪武期の日本国王	日本思想史研究会会報 8	1990.05
広渡正利	懐良親王と承天寺釣寂庵	同編『博多承天寺史補遺』（文献出版）	1990.05
森茂暁	令旨の書き止め文言—懐良と護良—	瀬野精一郎編『南北朝遺文 九州編 月報』6、のち同『思文閣史学叢書 中世日本の政治と文化』（思文閣出版、2006.10）に再録	1990.10
江上敏勝	『征西大將軍と八代—懐良親王・良成親王—』	（八代史談会）	1991.04
岩元修一	初期日明関係論をめぐって—征西府の問題を中心に—	地方史研究 232	1991.08
古賀壽	懐良親王の願文について	高良山の文化と歴史 創刊号	1991.09
坂井孝之	海から親王の跡を見る	高良山の文化と歴史 創刊号	1991.09
佐々木四十臣	懐良親王の御名などの考察	高良山の文化と歴史 創刊号	1991.09
森茂暁	『角川選書221 太平記の群像—軍記物語の虚構と真実—』	（角川書店）	1991.10
西尾賢隆	京都五山の外交的機能—外交官としての稱僧—	荒野泰典・石井正敏・村井章介編『アジアのなかの日本史Ⅱ 外交と戦争』（東京大学出版会）	1992.07
川添昭二	九州南北朝研究史序説—大正期まで—	瀬野精一郎編『南北朝遺文 九州編 月報』7（東京堂出版）	1992.09
川添昭二	南北朝期九州関係史料の調査・刊行	日本歴史 536、のち同『叢書・歴史学研究 中世九州地域史料の研究』（法政大学出版局、1996.05）に再録	1993.01
高田洋子	征西後將軍良成親王御霊代御着—明治19年9月—	夜豆志呂 109	1993.05
川添昭二	南北朝動乱期の九州	同『九州の中世世界』（海鳥社）	1994.04
山内譲	九州へ渡った「四国海賊」	松岡久人編『南北朝遺文 中国四国編 月報』6（東京堂出版）	1995.01
村井章介	日明の政治的連環—一三七六～一三八六年—	加能史料会報 8、のち、加能史料編纂委員会編『加賀・能登 歴史の窓』（石川史書刊行会、1999.11）に再録	1995.03
松山丈三	深堀覚書にみる世良親王と懐良親王は同一人物か	夜豆志呂 117	1995.06
森本繁	征西府秘帖	同『村上義弘と南海水軍王国』（学習研究社）	1995.11
川添昭二	『対外関係の史的展開』	（文献出版）	1996.03
馬渡和広	征西府支配の構造	熊本史学 72・73合併号	1996.12
永井英治	南北朝内乱期の所領返付政策について	雲雀野 19	1997.03
川添昭二	大宰府征西府年表稿	少弐氏と宗氏 30	1998.02
柳田快明	征西府の支配と熊本	新熊本市史編纂委員会編『新熊本市史 通史編2 中世』（熊本市）	1998.03

橋本雄	室町幕府外交の成立と中世王権	歴史評論 583、のち「肥後地域の国際交流と偽使問題」と改題して、同『中世日本の国際関係—東アジア通交圏と偽使問題—』（吉川弘文館、2005.06）に再録	1998.11
太田弘毅	南北朝内乱と征西府の密輸—明国謀叛事件に関連して—	軍事史学 34-3、のち同『倭寇—商業・軍事史的研究—』（春風社、2002.08）に再録	1998.12
西尾賢隆	日中交流における大応の塔銘（上）	禪文化研究所紀要 24、のち「日中交流における大応塔銘の撰者」と改題して、同『中国近世における国家と禪宗』（思文閣出版、2006.03）に再録	1998.12
阿蘇品保夫	『一の宮町史 自然と文化 阿蘇選書② 阿蘇社と大宮司—中世の阿蘇—』	（一の宮町）	1999.03
村井章介	「日本国王」の成立—足利義満論—	同『中世日本の内と外』（筑摩書房）	1999.04
松崎英一	刊本『五条家文書』中の年次推定文書についての疑問	『福岡県高等学校歴史研究会研究紀要—50周年特集—』	2000.03
西村栄弘	大原合戦	少武氏と宗氏 34	2000.06
工藤敬一	『中世古文書を読み解く—南北朝内乱と九州—』	（吉川弘文館）	2000.06
大城美知信	南北朝の内乱と筑後—特に南朝（征西府）の動きを中心として—	地方史ふくおか 108	2001.02
三浦龍昭	外記家清原氏と五条頼元	日本歴史 645、のち同『征西將軍府の研究』（青史出版、2009.11）に再録	2002.02
橋本雄	肥後菊池氏の対外交流と禪宗・港町	禪文化研究所紀要 26、のち、「肥後地域の国際交流と偽使問題」と改題して、同『中世日本の国際関係—東アジア通交圏と偽使問題—』（吉川弘文館、2005.06）に再録	2002.12
秦野裕介	日本国王号成立をめぐる—日本国王良懷冊封とその影響—	日本思想史研究会会報 20	2003.01
三浦龍昭	南北朝期無年号文書に関する一考察—『阿蘇文書』四條隆資書状考—	大正大学大学院研究論集 27、のち同『征西將軍府の研究』（青史出版、2009.11）に再録	2003.03
三浦龍昭	南北朝期九州における南朝の動向	大正大学大学院研究論集 27、のち同『征西將軍府の研究』（青史出版、2009.11）に再録	2003.03
森猛	『九州西瀬戸中世史論攷』	（海鳥社）	2004.08
崎山勝弘	征西府の肥後国支配—菊池氏と阿蘇氏との関わりをめぐる—	今江廣道編『中世の史料と制度』（続群書類従完成会）	2005.06
森茂暁	『南朝全史—大覚寺統から後南朝へ—』	（講談社）	2005.06
三浦龍昭	「令旨」と「御教書」—官方文書の武家文書化—	鴨台史学 7、のち同『征西將軍府の研究』（青史出版、2009.11）に再録	2007.03
山田貴司	南北朝期における武家官位の展開	古文書研究 66	2008.08
小郡埋蔵文化財調査センター編	『大原合戦650周年記念事業 大原合戦展—九州南北朝最大の合戦—』	（大原合戦650周年実行委員会・小郡市教育委員会）	2009.07
三浦龍昭	『征西將軍府の研究』	（青史出版）	2009.11
川添昭二	<書評>三浦龍昭『征西將軍府の研究』	日本歴史 746	2010.07
溝川晃司	中院義定の人名表記について—『阿蘇文書写』を題材に—	阿部猛編『中世政治史の研究』（日本史史料研究会）	2010.09
川島仁志	征西將軍府と恵良惟澄—正平三年段階の阿蘇惟時帰参前後における関係—	七隈史学 14	2012.03

（かわぞえ・しょうじ 太宰府市公文書館構想調査研究委員会顧問／九州大学名誉教授、すじゃく・しんじょう 太宰府市総務部情報・公文書館推進課市史資料室嘱託）